

2023年3月27日

第3511号 for Nurses

週刊(毎週月曜日発行)
発行=株式会社医学書院
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
TEL (03) 3817-5694 FAX (03) 3815-7850
E-mail: shinbun@igaku-shoin.co.jp
JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

New Medical World Weekly

週刊 医学界新聞



医学書院

www.igaku-shoin.co.jp

今週号の主な内容

- [対談] 全ての看護職の処遇改善に向けて(石田昌宏, 福井トシ子)..... 1-2面
[インタビュー] 省察的実践で看護師の「わざ」を磨く(三輪建二)..... 3面
[寄稿] へき地診療所におけるプライマリ・ケア医との協働実践(中山法子, 中嶋裕)..... 4面
[連載] 教えるを学ぶエッセンス(終) 5面
[連載] 看護のアジェンダ/第37回日本がん看護学会学術集会開催..... 6面
[連載] 他者理解を促すためのブックガイド/MEDICAL LIBRARY..... 7面

対談 全ての看護職の処遇改善に向けて



福井 トシ子氏
公益社団法人日本看護協会 会長

石田 昌宏氏
参議院議員/看護師

福井 国家公務員医療職俸給表(三)〔以下、俸給表(三)〕級別標準職務表が2022年11月に改正されました(表1)。これは官民を問わず看護職の給与決定に影響するもので、その改正は全看護職の処遇改善の実現に向けて大きな一歩となります。

石田 処遇改善は長らく前進できませんでしたね。俸給表(三)級別標準職務表に7級が新設されたのが1991年、実に31年ぶりです。

福井 本日は石田議員と共に改正に至るまでの流れを振り返りながら、取り組みを今後どう続けるかを考えます。まずは処遇改善の流れを石田議員からお話いただけますか。

石田 今回の改正に至るまでには3段階ありました(表2)。第1段階が20年6月に開始した「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業」

です。コロナ対応への手当については、行政も含む社会全体が声を上げてくれました。慰労金はあくまでもコロナ禍の特例でしたが、それを契機にそもそもの看護職の処遇を改善すべきだとの流れができましたね。その結果が第2段階である21年11月「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に始まる看護職員等処遇改善事業につながります。22年2月からの補助金を経て、同年10月には診療報酬での対応に移行しました。

ただし、この処遇改善はコロナ対応にかかわった一定の要件を満たす医療機関の看護職のみが対象でした。そこでより多くの看護職が対象になる処遇改善の方策として、賃金構造を変えた俸給表(三)級別標準職務表の見直しをしたのが第3段階です。

国家公務員看護職の給与規定である医療職俸給表(三)級別標準職務表が改正され、看護師長がこれまでの副部長級に、知識や経験に基づき困難な業務を担う看護師がこれまでの師長級に位置づけられた(表1)。この見直しは、公的価格評価検討委員会(注)の「中間整理」に記載された「すべての職場における看護師のキャリアアップに伴う処遇改善のあり方について検討すべき」との方針を踏まえて実施されたもの。直接の対象は国家公務員の看護職にとどまるものの、本改正を契機に全ての看護職員の処遇改善をめざし、看護職員の給与体系の見直しを日本看護協会(以下、協会)や厚労省が求めていく。改正に尽力した石田昌宏氏と協会長の福井トシ子氏が、処遇改善や医療職俸給表(三)級別標準職務表の見直しに至るまでの舞台裏と次の展望について対談した。

●表2 看護職の処遇改善にかかわる国の動向

Table with 2 columns: Date (2020年6月, 2021年11月19日, 12月21日, 12月22日, 2022年11月18日, 12月9日) and Description of government actions regarding nursing staff compensation and career advancement.

潮目を変えたのは 看護職の責任感ある働き

福井 一連の流れの舞台裏をお聞きしたいと思います。きっかけとなった第1段階で看護職が注目されたのは、われわれも思いがけないことでした。

石田 ええ。看護職の働き方については、これまでも多くの議論や改善を積み上げてきましたが、国ではなく各施設で決定する賃金の議論はなかなか盛り上がりきらなかった。そこにコロナ禍が始まり、最前線に立つ看護職が社会的に注目を浴びました。

当初、医療職は社会からの偏見にさらされました。特に看護職は子育て中の母親など、家族を守る重要な役割も担う方が多い。にもかかわらず、感染リスクの高い現場にいて家で帰れなかったり子どもを保育園で預かってもらえなかったりする状況でした。しかしその逆境の中でも責任を持って役割を果たしたことで、「看護職は頑

張ってくれている」「偏見はおかしい」との世論が高まったのです。医療職の中でも看護が良い意味で注目され、看護職の処遇改善に政策が向く時だと感じました。

福井 看護職は感染管理の知識が豊富で高い技術も持っています。そのため、それまでは他職種で分担していた業務も含めて看護職に全て任せられ負担が増しました。制度の違いはありますが、諸外国では多くの看護職員の前線離脱があった中、わが国の看護職員は最前線で頑張り続けてきましたね。

コロナ禍では、国民が3つの価値を再確認したのではないのでしょうか。1つは普遍的な健康に対する価値です。感染防止行動をとりながら健康は自らづくり、維持すべきものだと実感したと思います。次に家族や仲間の価値です。隔離などで生活を共にできない中で、家族とは何か、仲間とは何かを見つめ直す機会になったことでしょう。

(2面につづく)

●表1 改正前後の国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表の比較(赤字は主な改正点)

Table comparing job levels (1-7) before and after the revision, highlighting changes in job titles and responsibilities.

3 March 2023 新刊のご案内 医学書院
Includes book recommendations such as 'がんのキホン', '看護診断ハンドブック', 'POTTプログラム', and '看護研究 Step by Step'.

●いしだ・まさひろ氏

1990年東大医学部保健学... 日本看護協会政策企画室長として看護関連政策の立案・調整に従事。日本看護連盟幹事長を経て、2013年比例区(全国)にて参議院議員に初当選。石田まさひろ政策研究会ウェブサイト(https://www.masahiro-ishida.com/)。



●ふくい・としこ氏

1982年東京女子医大看護短期大学専攻科修了。83年福島県立総合衛生学院保健学科修了。同年東京女子医大病院に入職。91年杏林大病院看護師長、2003年看護部長。10年日本看護協会常任理事を経て、17年会長に就任。経営情報学修士、保健医療学博士。



(1面よりつづく)

そして、看護に対する価値です。看護職が常に最前線でコロナに対応し、それを社会が認めてくれたことが処遇改善の大きな前提になりました。

できる限り多くの看護職を処遇改善事業の対象に

福井 第2段階の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の当初は、コロナ対応に当たる三次救急医療機関の看護職20万人に対して収入の約3%(月1万2千円)の補助が予定されていました。協会から「コロナに対応したのは看護職全体の168万人です」と主張したのですが、行政からは「決定している財源以上は拡大できない」との回答でした。

石田 この回答は、実に不健全ですし、これほど悔しいものはありません。看護が分断されるのですから。しかし、財源を覆すことはできませんでした。そこで申し訳ないのですが1人当たりの補助額を1%に減らすことで総額を変えず、「救急搬送件数が年間で200件以上の医療機関」を要件に加え57万人へと対象を拡大しています(表3・注1)。まずは対象を広げた後に、総額を段階的に引き上げようとの意図でした。

福井 その後「看護職員処遇改善評価料」が新設され、看護職員等処遇改善事業が診療報酬に組み込まれました。行政は1%のままで検討していたと思いますが、協会からは3%の引き上げを強く要望しました。

石田 われわれも3%の数字を強く主張し、対象を広げたままの引き上げに成功しました(表3)。

福井 予算大臣折衝事項が公表された21年12月22日は忘れられません。診療報酬で対応する際のそれまで本会が行ったロビー活動は、「看護職一人ひとりに確実に行き渡る方法を作ってほしい」とそれだけです。実際に評価料の計算式¹⁾が明記され「看護職員等の賃上げ必要額」だと強調していただきました。ただし、柔軟な運用が認め

●表3 2022年度診療報酬改定等に関する2021年12月22日予算大臣折衝事項(抜粋)

看護職員の処遇改善については、(中略)令和4年度診療報酬改定において、地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関(注1)に勤務する看護職員を対象に、10月以降収入を3%程度(月額平均12,000円相当)引き上げるための処遇改善の仕組み(注2)を創設する。注1) 救急医療管理加算を算定する救急搬送件数200台/年以上の医療機関及び三次救急を担う医療機関 注2) 看護補助者、理学療法士・作業療法士等のコメディカルの処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるよう柔軟な運用を認める。

られています(表3・注2)、実際には他職種に配分している施設もあると聞きます。

石田 難しい部分ですね。看護職に限定したい思いはありますが、他職種も当然懸命に尽力しています。また施設内で昇給の交渉を行う際、他職種と協力できれば経営陣に対する説得力が増す利点もありますから。なお細かい工夫ですが、あくまでも看護職の処遇改善と示すため、他職種の例示の最初に看護補助者を入れてもらいました。

福井 通常は国家資格者から記載されるルールだそうですね。石田議員のアイデアです。

石田 細かい点で実際どれほどの効果があるかはわかりませんが、少なくとも政府の作成者がその意図を理解してくれた。そこに意義があると考えています。

管理職だけでなく、高度な技術を持つスタッフの評価を

福井 ただし、対象は看護職全体の約35%にとどまります。全看護職への処遇改善の拡充が今後の課題です。

石田 それは簡単な道のりではなく、長い目で考えなければなりません。一方で機会をうかがい続けるだけでなく、別の手も必要だと考えて着手したのが、看護職向けの給与表である俸給表(三)級別標準職務表の改正です。賃上げとしてわかりやすいのは、給与表の金額自体を引き上げる方法でしょう。しかしそれでは国家公務員全体の中でなぜ看護職の給与のみを改正するのが疑問視され、実現できない可能性が高い。そこで金額には一切触れず、人事院規則の変更で可能な俸給表(三)級別標準職務表を変更したのです。

看護職の級別標準職務表の構造上の課題は、スタッフ全てが2級に位置づけられ管理職になる以外のキャリアアップがなかった点です。改正のポイントは、看護師長が4級に上がったこと。そしてこれまで看護師長が位置づけられていた3級に、高度な技術を持つ看護師が新たに位置づけられた点です(表1・1面)。個人的にはリーダー業務が担えるスタッフは3級に相当すると思います。

福井 本会の中では認定看護師・専門看護師資格取得者や管理職への評価が当然との考えが主流でした。しかし資格を持っていないとも、スーパージェネラリストとして認められるべき看護職員がいるはず。その考え方を石田議員は早期から指摘してくれていま

石田 改正の議論に当たっては、協会が賃金モデル²⁾を作成してくれていた意義が大きかったです。キャリアを積むことでのスタッフナースの成長も評価すべきとの提案がなされており、行政の理解もスムーズでした。

福井 公的価格評価検討委員会に本会が提出した意見書の内容が、委員会の中間報告にはほぼ採用されていたことで本会の考え方に自信が持てました。また意見書提出に当たっては、石田議員の助力を得て勉強会等で事前に準備を進めていた。結果、検討会委員から、他団体と比べて協会は、データの示し方や主張がわかりやすいと評価されています。国政で頑張る仲間の重要性を実感しました。

看護職員の給料を上げないと人材確保の競争力が失われることになりま。各施設で徐々に改善の動きがあるはず。本会では1月から3月末まで俸給表(三)級別標準職務表の見直しに伴う「看護職員の処遇改善キャンペーン」を都道府県看護協会と共に行いました。キャリアに応じた評価制度にするためには、その作成とそれに基づく自身の能力の評価も求められます。16年に協会が公開したクリニカルラダーをより改良したものを23年の6月ごろに公表する予定ですので参考にさせていただきたい。本会が考える賃金モデルの複線型等級制度を実現するためには、役割定義された等級によって評価され、その定義に対応する教育を行い、等級と連動した賃金を決定することになります。数年かけてでも、その成果を期待したいと思います。

質の評価と言語化を通して、看護をもっと身近な存在に!

福井 これまで看護職は自らの給与が決まる仕組みに自覚的ではありませんでした。しかし看護職の需要が高まる一方、18歳人口は減少を続けています。毎年5万5000人ほどの看護職を継続して生むためには、より男性が参入しやすい環境整備も必要でしょう。40歳時点で一般企業と月に7万4000円もの開きがある³⁾ようでは、金銭的に魅力のある職業だとは言えません。一般企業で就業中の方や他学部を卒業した方に、看護に関心を持っていただくためにも処遇改善には意義があります。石田 一連の処遇改善が現場の看護体制の整備につながれば幸いです。現場で必要になる賃上げ交渉や各病院の給与表の見直しにぜひ取り組んでいただきたい。それが未来につながるはずですから。

福井 原資がなければ病院経営者も当然着手できませんので、診療報酬が重要になりますね。24年度の改定は医療保険の診療報酬と介護保険の介護報酬、障害福祉サービスの報酬のトリプル改定です。関係議員と現場、他団体とも協力しながら、協会は全看護職員の処遇改善に向けて懸命に取り組みを続けます。

石田 政策としては、マイナンバーカードの資格連携によって研修受講の履歴などをデータ化し自己管理可能にする方針です。そうした学習の動機づけ、そして一連の処遇改善は、個々の看護の質を高めていくための流れです。看護職が増えれば看護の質が上がるのと従来の考え方と並行して、今後は一人ひとりの看護の質を向上することが重要です。そしてその方向性を協会とわれわれとで共有しているからこそ、今回一つひとつの手が打てています。背景にあるのは、何十年も続いてきた看護の在り方を新しい時代に向けて変えなければとの危機感です。

福井 われわれ看護師も社会の一員であり、給与は社会からの評価でもあります。診療報酬改定や看護職の給与向上に対して国民からの理解を得るためには、看護の言語化や質の可視化も欠かせませんね。協会の広報活動も、これまでは看護職向けにならざるを得ませんでした。コロナ禍以降はより一層、国民や社会に向けた広報へと方針を転換しました。

石田 良いですね。その場に存在するだけで理解が広がることもありますから、看護界から飛び出していく行動も必要でしょう。近年の訪問看護などの広がりに伴い看護職は家庭や街の中に入っています。その中で看護への理解が広がっているはず。今は医療や福祉寄りの領域ですが、例えば健康増進にも寄与していけば、国民の日常の中に看護がより広がると思います。

福井 同感です。本来の看護は、国民誰もが実践できるもの。社会全体の誰もが、「看護」を当たり前イメージできて、自分の健康を自分で守り、他者にも必要な声をかけて手を差し伸べられる。そんな環境を創りたい。私たちは処遇改善を通して看護のプレゼンスを高めていきます。それと合わせて、「看護とは何か」を国民に広く理解してもらえれば、看護は広がり深さをもっと増していきははずです。(了)

注:「看護、介護、保育などの現場で働く人の収入を増やすため、公的価格の在り方を検討する」ことを目的に、2021年11月に内閣府に設置された組織。

●参考文献・URL

- 1) 厚労省. 個別改正項目について ①看護職員処遇改善評価料の新設. 2022 https://bit.ly/3kr3mze
2) 日看協. 看護職のキャリアと連動した賃金モデル. 2019 https://bit.ly/3lsjxv1
3) 日看協. 看護職員の処遇改善に向けて. 2022. https://bit.ly/3IPu510

看護管理 2022年9月号 Vol.32 No.9
特集 看護職の処遇改善
経済学視点と看護職員等処遇改善事業の経験から
収録内容
●医療・看護経済学の視点から見た看護職の処遇改善
-なぜ看護師の技能は賃金で評価されにくいのか
●インタビュー:看護職員等処遇改善事業の経緯とその意味
-日本看護協会の取り組みを踏まえて
●資料:看護職員等処遇改善事業補助金の概要と申請状況
●インタビュー:看護職員等処遇改善事業を利用した施設の立場から
●定価:1,760円(本体1,600円+税10%)
医学書院

50th Anniversary
いつも「看護」とともに。
1973年、社団法人日本看護協会から独立した当社は、この半世紀、看護と社会の歴史とともに歩んできました。これからも看護の専門出版社として、ケアにかかわるすべての人びとのために、時代に即した価値ある情報を届けてまいります。
株式会社日本看護協会出版会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4F TEL: 03-5778-5712 https://www.jnapp.co.jp

せいさつてき

省察的実践で看護師の「わざ」を磨く

interview 三輪 建二氏（星槎大学大学院教育実践研究科 教授）に聞く

ドナルド・A・ショーンが提唱した「省察的実践者」(Reflective Practitioner)の考え方は、現在の専門職の学びに大きな影響を及ぼしている。看護学生、看護師の教育においても、自らの経験から学ぶ省察（リフレクション）の重要性が認められ、多くの教育実践が報告されている。

省察的実践や成人学習に関連した書籍の翻訳を手掛けてきた三輪建二氏が、この度『わかりやすい省察的実践——実践・学び・研究をつなぐために』（医学書院）を上梓した。書籍のねらいと看護師に適した省察的実践の活用法を聞いた。

——先生は、ドナルド・A・ショーン著『省察的実践とは何か——プロフェッショナルの行為と思考』（鳳書房）の監訳をはじめとし、省察的実践や成人教育に関連する書籍の翻訳や執筆に数多く取り組んでこられました。今回発行された書籍について執筆の経緯を教えてください。

三輪 勤務先の大学院で、小・中・高等学校の教員のみならず、多くの看護師、社会福祉の専門職の方々が、対人支援の場での教育的なかかわりに悩んでいることに気づきました。いわばそうした“対人関係専門職”の在り方に、省察的実践の考え方はマッチしているのだと考えています。一方でショーンをはじめ、これまで手掛けてきた翻訳書は非常に分厚く、また日本の文化に合わない記述もあります。省察的実践や成人学習について初めて学ぶ方でも、ご自身の実践と結びつけながら理解できる内容をめざし、筆を執りました。

——省察的実践の考え方が“対人関係専門職”にとってなぜ重要なのでしょう。

三輪 例えば看護師は、同じ疾患の患者でも、その人の背景や個性をとらえたケアが求められます。看護師自身と患者の関係性にも大きく左右されるでしょう。つまり教科書的な正解を目の前の患者にそのまま当てはめればよいわけではありません。これらの実践では、暗黙知や「わざ」と表現される言語化されていない専門性が駆使されています。しかし、この専門性は科学的でないという理由から歴史的にも低く評価され、対人関係専門職は「専門家」としての扱いを十分には受けてきませんでした。そこでショーンが新しい専門家像として提唱したのが、「省察的実践者」です。私は、対人関係専門職は省察的実践者としての側面があると考えています。

——省察的実践者の特徴はどのようなものですか。

三輪 学びに焦点を当てると、全ての学びを「自分事」として受け止め、日々の自らの実践を振り返り、そこから学びを得る（リフレクション/省察）ことです。リフレクションの1つの方法は、「物語る」こと。自分自身の実践・経験を誰かにに向けて語り、コメントや語り合いを通して、暗黙知やわざ、また自身の信念や価値観に気づいていく必要があります。

わざを育てる本来のリフレクションを実践するために

——看護実習後に振り返りの時間が設けられるなど、看護学生や看護師の教育において積極的にリフレクションが活用されていると感じます。

三輪 そうですね。私が勤める大学院の社会人院生には看護師が特に多く、自己成長への熱意や吸収力には目を見張るものがあります。一方で院生の話を聞くと、リフレクションが知識・技術を得るための手段になっており、本来の考え方とは異なる方法で用いられているのではないかと疑問を抱きました。——どういうことでしょうか。

三輪 ショーンは省察的実践者を、「技術的熟達者」との対比で表現しています（表）。しかし、省察的実践におけるリフレクションが技術的熟達者を「評価」する文脈のみで用いられていることが多いのです。

本来のリフレクションは学習者それぞれが考えを深め、学びを得られればよいものであり、指導者が評価するものではありません。異なる方法で用いられるようになった原因は、教育の現場において指導者が評価する、学習者は評価される、という関係性が強すぎる点が挙げられるでしょう。指導者がリフレクションを評価しようとする場合、学習者は良い評価を得るために、自身の学びより指導者から評価の得ら

れる答えを優先します。また、指導者に評価する意図がない場合でも、ただ「振り返ってください」と問われると、学習者は評価されると勘違いしてしまいます。「心に残った出来事がありますか」のように問いかけ方を変えると、自分自身の経験に即して振り返りやすくなるのではないのでしょうか。書籍でも、実践を振り返っていただくための問いかけをたくさん掲載しました。

また、医療行為は患者の安心・安全に直結することも、技術的熟達者の教育となりがちな理由と言えるでしょう。患者に何かあったらいけないと思うとどうしても不安になり、つい指導してしまうのです。リフレクションの一番の肝は「自分で気づく」部分ですから、先回りして教えずに学習者自身で何が問題なのかに気づいてもらいたい。とはいえ、学習者が患者に害を及ぼしそうなになったら、指導者はすぐ止めなければならないと思います。切羽詰まった現場で、問いかけて学習者に自ら気づかせるのは実際には難しいでしょう。

——つい指導してしまう気持ちもわかります。

三輪 知識・技術の教育が中心になってしまい、学習者が看護観を深めたり、自らの価値観に気づいたりするための深いかかわりがなかなかできないというジレンマは、教育にかかわる方々自身も実感していると思います。大学院で学ぶ看護師から、「そんなことしたら患者さんの命が危ないよ！」などと責める言葉を放ってしまうとの悩みを聞きました。——ジレンマを解消するにはどうすればよいのでしょうか。

三輪 まずは、看護教育ですでに取り入れられているシミュレーション教育の活用でしょう。模擬的な環境においても経験から省察的な学びを得ることは可能であり、指導者の省察的なかかわりは大変有効です。失敗しても実際の患者に影響は出ませんし、実践形式を通じて自分の頭で考えることで看護倫理も生きた知恵になります。そうすれば、患者に向き合う際の安心・安全をより確保できるはずです。

省察を繰り返し理解し合える範囲を広げる

三輪 同じ職場の一つの医療チームとはいえ、多職種で考え方の違いがある上、そもそも同じ看護チームの中でも初めから一枚岩というわけではないでしょう。省察的実践は、自分自身の実践のアップデートだけでなく、看護チーム内での連携や医療チーム内の他の専門職集団との持続的な連携・協働にも役立ちます。それぞれがどのような専門性を持ち、それをどのように発揮できるかを互いに把握し合った上



●みわ・けんじ氏

1981年東大法学部卒。同大大学院教育学研究科博士課程修了。博士（教育学）。東海大、上智大、お茶の水女子大での勤務を経て、2018年より現職。専門は成人教育論、省察的学習論。監訳本に『省察的実践とは何か——プロフェッショナルの行為と思考』『教師の省察的実践——学校教育と生涯学習』（いずれも鳳書房）など。著書に『おとなの学びとは何か——学び合いの共生社会』（鳳書房）、『わかりやすい省察的実践——実践・学び・研究をつなぐために』（医学書院）などがある。日本の成人教育学の啓発・研究に長年取り組み、教員研修、看護研修など多分野で活躍している。

で、共に解決策を探っていくのが本物のプロフェッショナルです。そのためには、異分野の専門職に対して、自分の専門性・わざをわかりやすい言葉で伝える必要があります。

——まず自身の実践を言語化しておく必要があるのですか。

三輪 そうです。大切なのは、何度も繰り返して省察し、言語化を行い、理解し合える範囲を徐々に広げていくことです。絶えず言語化と対話を続け、省察の輪を広げていけば、より良い医療チームをつくれるのではないかと思います。——実践の改善のために日々努力する看護師、看護学生にメッセージをお願いします。

三輪 医師が行う治療は多くの場合、専門知識・技術を適用し病気をやけがなどの治療、という問題の「解決」が目標となります。一方、看護師が行うケアには、家族や患者が最も大事にしていることを共に考え、解決すべき問題を「設定」することが重要となります。共に考え、患者それぞれの最善をめざすケアは目に見えにくく、また業務が忙しければ忙しいほど、おろそかになりがちです。でも、これこそが看護の重要な役割であり、看護師の専門性ではないかと思っています。

そんな皆さんの実践を勇気づけられればとの私なりのエールを『わかりやすい省察的実践——実践・学び・研究をつなぐために』には込めました。紹介されている事例や「問いかけ」を自身の経験に落とし込みつつ、同僚などの他者との対話を交えながら、実践に生かしてもらえれば幸いです。

(了)

●表 技術的熟達者と省察的実践者の比較

対人関係専門職は技術的熟達者と省察的実践者に分けられる。

技術的熟達者	省察的実践者
<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技術を適用して問題に対処する ●かかわりあう人々を単なるクライアントと位置付ける ●「問題の解決」をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> ●実践を省察し、改善や質の向上をめざす ●かかわりあう人々への向き合い方や支援の在り方は、省察の中で考える ●何が問題になっているのかを根底から考える「問題の設定」をめざす

わかりやすい省察的実践

実践・学び・研究をつなぐために

三輪建二

わかりやすい省察的実践
実践・学び・研究をつなぐために

発行記念

NEO 無料 Zoom セミナー

ドナルド・A・ショーンが提唱した「省察的実践」のエッセンスを解説しながら、現場につながる学びや研究についてともに考えるセミナーです。

①、②のいずれか1日だけ、あるいは両日の参加も大歓迎です（お申込みはそれぞれ必要です）。

●書籍をお手元にご用意いただけますと、セミナーの理解が一層深まります。

講師 三輪 建二先生 星槎大学大学院特任教授

医学書院

1 臨床の学びを支える—省察的実践にもとづく「教育的かかわり」入門

日時 2023年5月13日 10:30~12:00

詳細・お申込み

対象 看護教員、臨床指導者、看護管理者など、教育・学びに関心をもつ方



2 実践を探究する—省察的実践にもとづく「研究」入門

日時 2023年6月17日 10:30~12:00

詳細・お申込み

対象 臨床や大学院で研究に取り組む方、これから取り組んでみたい方



*各日リアルタイム配信の後、約1か月間アーカイブ配信を予定しています。

不確かな現場に生きるあなたが
学び続け、知を深めたいために。
実践のあり方をとらえなおす方法

待望の入門書

医学書院

寄稿

へき地診療所におけるプライマリ・ケア医との協働実践

中山 法子 山口市徳地診療所/糖尿病ケアサポートオフィス 代表

●なかやま・のりこ氏

1988年山口県立衛生看護学院卒、2011年国際医療福祉大学院修士課程修了。21年より現職。診療看護師(NP、プライマリ・ケア領域)を11年に取得。糖尿病看護認定看護師。



筆者は診療看護師(NP)として、2つの医療機関でNP業務や行政の糖尿病重症化予防事業、地域でのフットケア活動を行なっている。本稿では、週1日勤務するへき地診療所におけるプライマリ・ケア医との協働について紹介する。

NP 外来運用の実際

山口県の中山間部へき地の山口市徳地地区では、地域の医療を担ってきた高齢医師による個人院が閉院するタイミングで、2021年5月に日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医資格を持つ中嶋裕医師が管理者となる診療所が開設された。筆者は開院当初から週1日のNP外来を担当している。

筆者の勤務日は2診体制で、第二診察室をNP外来として運用している。筆者は問診・身体診察・アセスメントの後に第一診察室の中嶋医師に連絡、中嶋医師が第二診察室に移動し、患者さんに体調等について直接話を聞き、筆者に診察内容を確認する。必要に応じて検査や治療に関して筆者に指示を出した後に、中嶋医師は退室する。指示内容を踏まえて筆者が検査計画や処方代行入力、患者教育、次回診察の予約をして診察は終了し、その後中嶋医師がカルテ内容を承認・確定して会計となる。

NP外来受診者の平均年齢は76.1(±14.6)歳で男性43%、女性57%。ほとんどの方が多疾患併存状態で、1時間当たり3~4人の患者を担当している。疾病管理だけでなく、基本的な生活が維持できているかを確認したり、人生の終末期に関する思いを共有したりするなど、診察のたびに対話を重ねながら対象理解に注力している。また、1日の終わりには、NP外来全患者の振り返りを中嶋医師と共に行い、筆者への医学的な指導だけでなく、診察時には十分伝えられなかった情報の共有

や、治療やケア方針に関してディスカッションを行う時間を設けている(図)。

心を開いてくれるのを待ちながらかわり続ける

NP外来受診者の事例を紹介する。Aさん:60歳代女性、両側股関節痛、高血圧症。

◆既往:ロキソニン®錠の長期服用

40歳頃に両側股関節痛で整形外科を受診した際、「そのうち歩けなくなる」と医師から説明あり(注:Aさん側の理解)。その後怖くなって整形外科の受診ができなくなり、前医で定期的にロキソニン®錠(60mg、1回1錠、1日3回)が長年処方されていたが、閉院に伴い処方の継続を希望して当院を受診。

◆NP外来初回:患者さんの気持ちを尊重

長期服用のリスクについて筆者から確認したところ、複数の医療機関で何度も同じ説明を受けており、悪影響の可能性があると理解していること、定期的に服用しても仕事に痛みを感じることに、Aさんが強い口調でこちらをにらむように回答したことをよく覚えている。他の鎮痛薬への変更について打診したが、ロキソニン®しか効かないと継続処方を強く希望された。「この薬がAさんの生活の支えなんです。わかりました。同じ薬にしておきますね」と返答し、カルテに入力した途端にAさんの表情が和らいだ。

その後、消化器症状の有無や食事の摂取状況、定期の血液検査などの問診を進めると、朝食は摂る習慣がないこと、仕事の前後と痛む時に鎮痛薬を服用していること、職場では健診がなく定期採血していないことを回答してくれた。筆者からは採血の必要性と朝食について生活指導を行ったところ、笑顔はなかったが「次回もあなたの外来に来ていいですか?」とその後は毎月NP外来を受診した。まずはAさんと

の信頼関係の構築を目標に設定した。

◆経過:痛みの原因解明に向けて

診療を繰り返す中で、Aさんは整形外科を受診する気持ちはないこと、鎮痛薬で長く生活を維持したいと思っていることを筆者は把握した。中嶋医師に相談し、鎮痛薬の種類の変更を目標にした。Aさんは、希望すればロキソニン®が処方してもらえるという安心感を得たようで、仕事の大変さや朝食を少しでも摂り始めたことなど、痛み以外のご自身のことを話すようになる。半年が経過した頃に「薬を変えたら、ロキソニン®はもう出してくれない?」と自ら他剤について質問してきた。この頃には筆者の前では笑い声も聞けたが、中嶋医師が入室した途端に表情は固くなるのであった。それからまた数か月が経過し、仕事がない日はロキソニン®は飲まなくて済むし、受診日は徒歩通院のため仕事以上に歩くのに痛まないのを不思議に思うこと、仕事のストレスが痛みに関与している可能性について話してくれるようになった。

ある日、筆者は偶然Aさんの職場を目にした。屋外での作業で階段昇降が何度もあり、水を使うと聞いていたが、足元はコンクリートで冷たそうである。跛行で診察室に入ってくるAさんの姿を思い浮かべ、どんなに大変だろうと想像するとともに、その仕事のおかげで地域住民は気持ちよく過ごせているのだと実感した。そのことを、次のNP外来でAさんに伝えたところ、嬉しそうに顔を真っ赤にして両手で覆った。最近の診察では「ほとんどロキソニン®は飲まなくなり、余っているからいらない(変更後の鎮痛薬は1回

1錠、1日1回で希望したが)」という状態である。中嶋医師が入室してくるといまだにAさんの笑顔は消えるが、表情の硬さの程度が緩んできているように見える。そこで、Aさんが望む生活維持のために整形外科で股関節痛の評価をするという目標の再設定をした。

◆患者さんの健康・生活維持のために

過去の医師による診察で、NSAIDs長期服用のリスクについては繰り返し説明されていた。しかし、Aさんの生活実態にまで思いをはせ、配慮できていなかったのではないかと考える。Aさんは「いずれ歩けなくなる」という説明に20年以上も怯えながら、仕事や子育て、家事、介護をこなしていた。いくつかの心理的な要因も痛みの誘因となっているのではないかと推察する。NP外来で鎮痛薬の課題にあえて目を向けず、生活の大変さを傾聴しながら、どうやったら健康や生活が維持できるかについて看護の視点で助言を行い、心を開いてくれるのを待ち続けた。その結果、Aさんは生活の改善や主体的な治療への参加を行うようになったと考える。中嶋医師には鎮痛薬の選択や整形外科受診に関する相談などの治療的側面での指導・助言、およびAさんの健康と生活が維持できるような筆者のかかわりを監督・支援していただいている。

*

へき地診療所での実践を通して、限られた医療・介護資源の中では拾えなかったニーズや、そもそも諦められているニーズの存在を感じている。治療と看護を組み合わせたNPの実践により、地域住民の健康や生活の回復・維持に少しでも貢献できるよこれからもチャレンジしていきたいと思う。

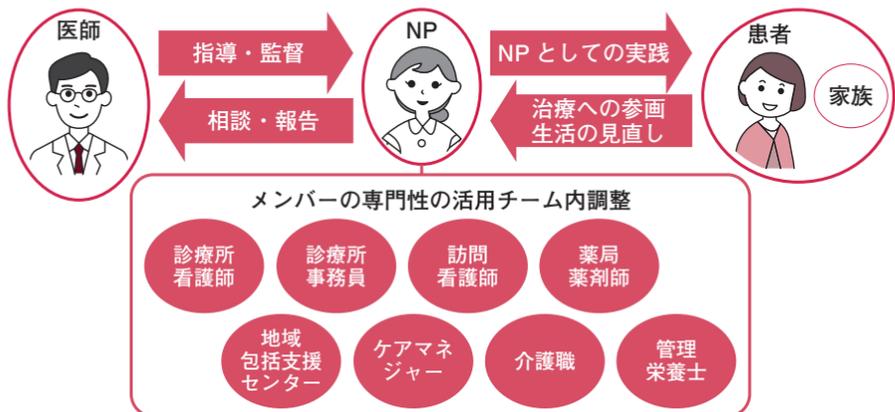
患者さんが頼れる人と場所が大切——協働する医師の立場から

山口市徳地診療所/山口県立総合医療センターへき地医療支援部 中嶋 裕

NPと協働するプライマリ・ケア医として、中山さんが挙げてくれた事例はとても印象的でした。医師が入室すると顔色が変わることを医師も理解しながら、あえてそこにフォーカスはしません。ご本人が頼れる場所と人が大事だと共通認識があります。今回の事例は一例ですが、多くの人がNP外来に継続的に通いながら、元気になっていく姿を目の当たりにしています。NPとの協働により、今までにないような形で患者さんに良い変化が起きることを、中山さんとの間では「看護の力により生活が整う」という言葉で表現しています。診療所の提供できる医療・看護の質において相乗効果を実感する日々です。

またNPによる診療への信頼はもちろん置いています。任せっ放しにしないよう気をつけています。特に診察は、NP外来の後にもう一度し直します。処方もNPからの提案を尊重しますが、一任はしません。医療的な判断で異なる選択肢をとる場合は否定せず、「こちらでいきましょう」のように、医師として指示を出します。後ほど治療の理由や思考過程などを伝え、お互いの理解とかわり方を擦り合わせます。医師-NP間でお互いの敬意と役割分担を確認し合うことが大事だと思っています。

●なかしま・ゆたか/2002年自治医大卒業後、山口県内のへき地医療機関に勤務する。12年より山口県立総合医療センターへき地医療支援部勤務し、21年より徳地診療所管理者を兼務。日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医・指導医。



●図 プライマリ・ケア医と診療看護師の協働

医学書院 無料 Webセミナー 対象 看護教員、実習指導者

詳細・お申し込みは医学書院ウェブサイトから▶



『13の実践レシピで解説! 看護を教える人が発問と応答のスキルを磨く本』の著者3名を講師に迎えて行うオンラインセミナーです

学習者は、問うて伸ばす! 応えて伸ばす!

「発問」と「応答」で、学び続ける看護師を育成する

看護を教える人の「問う力」、すなわち発問スキルの向上を目指すとともに、学習者からの返答に「応える(答える)力」としての、応答スキルを身に付けていただくためのセミナーです。

日時 2023年4月22日(土) 13:30~16:30

講師 内藤知佐子 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター助教
高橋 聖子 折尾愛真高等学校看護専攻科教諭
高橋 平徳 愛媛大学教育・学生支援機構教職総合センター准教授

参考図書 13の実践レシピで解説! 看護を教える人が発問と応答のスキルを磨く本...
◆2023年2月発行 定価:2,640円(本体2,400円+税10%)



教えるを学ぶ: エッセンス

教える機会は看護職の身近にあふれている。個の成長からチームの発展まで、学びをもたらす範囲も広い。学習者の能動的な学びを促す教え方を、どう磨けばよいのか。成人の学習を支援するための「学びほぐし」のエッセンスを、教育開発者 (educational developer) が紹介します。

杉森 公一
北陸大学高等教育推進センター長・教授

第12回 (最終回) リフレクションでエデュケーションをとらえ直す

今回のポイント

- ✓ リフレクションを行う際は、教育者・対象者の行動だけでなく、思考、感情、望みにも焦点を当てよう。
- ✓ 教育者が実践と省察を往復することで、深層に埋もれていた望みが浮かび上がってくる。

「教育の文字ははなはだ穏当ならず、よろしくこれを発育と称すべきなり」¹⁾。福沢諭吉が「文明教育論」の中でエデュケーションの誤訳に異議の主張をしたのは、産業化と国民形成(註)の要請を受けて近代学校制度が開始された時期であった。その後、日本は工業社会への転換を果たし、個別知識を「学力」として獲得(記憶)させることを学校教育の一つの命題としてきた。2020年代に入って私たちが直面しているのは、先の見通せない VUCA [Volatility (変動性), Uncertainty (不確実性), Complexity (複雑性), Ambiguity (曖昧性)] の状況である。特定の知識を持ち、技術を熟達させることだけでは、こうした社会情勢の変化に対応することは難しく、より高次の知識を統合し、スキルを柔軟に学び直していく姿勢が求められるようになった。

知識反応の時代への転換に対応する

テクノロジーの革新は、私たちの社会と学校を大きく揺るがそうとしている。OpenAI 社によって発表された生成的 AI 「ChatGPT」は、生成する文章の完成度の高さから、米スタンフォー

ド大学の学生ですら最終試験に使用するようになったという²⁾。医療の高度化への対応、タスクシフト/シェア、多職種連携など、医療現場の変化は目まぐるしいことから、技術的合理性モデルではそうした変化に即応できない可能性がある。したがって、状況に応じて想定を超えた対応をする中での「行為の中の省察(リフレクション・イン・アクション)」が求められている³⁾。

知識の再生産の時代から、あらゆる知識を統合させ、活用し、生み出していく知識反応の時代への転換点にわれわれは立っているのである。学習者の役割は知識の受け手から生涯学び続ける者 (Life-long Active Learner) へと変化し、教育者は学習者の能力開発を支えることで、そうした役割の変化を担うことになる。教育者にとって、これまで意識されてこなかった教育理念を含む「リフレクション」を行うには何を意識すればよいのだろうか。

リフレクションの冰山モデル

教師教育学のコルトハーヘンは、教育者がリフレクションを行う時に、客観的に見えやすい行動 (Doing) にのみ焦点を当ててしまいがちである、と警鐘を鳴らす⁴⁾。リフレクションは行動 (Doing) を水面の上に、水面の下に思考 (Thinking)、感情 (Feeling)、望み (Wanting) を順に配置した「冰山モデル」によって、言語や表情を通してもとらえることのできない深層をすくい取ろうとするアプローチである(図)⁴⁾。自分自身で問いかけたり、同僚と共に相互に振り返ったりする[連載 11 回]での FLC (Faculty Learning



●図 リフレクションの冰山モデル (文献 4 をもとに作成)
リフレクションにおいては教育者や対象者の行動だけでなく、その下に存在する思考、感情、望みに着目することが重要となる。

Community) など] 機会を意識的に設けることが大切である。

筆者は 2020 年から 3 年間、理学療法・作業療法を専攻する大学院生を対象にした「教育方法論」(2 単位, 15 週)を担当している。2018 年 10 月に公布された「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」によって、専門学校や大学等で教えることのできる専任教員の要件が 17 単位 (360 時間) 以上の専任教員養成講習会を受講するか、または大学院の課程で教育学に関する科目を 4 単位以上修めることが求められたために開講された科目である。本連載で取り上げたトピックを網羅し、教育方法の理論から授業設計の実際までを、シラバス作成と模擬授業を通して体験的に学ぶ。最終週にはリフレクションのために、教育活動を記述し省察する記録「ティーチング・ポートフォリオ」⁵⁾の一部である「理念(教育上の抱負)」を言語化して作成する。「理念」とは、教育活動における自分の行動原理となる重要な信念や姿勢のことであり、どのような学生を育てたいか、大学教員としてどうありたいかについて、単なる事実の列挙ではなくリフレクションに基づいた活動の俯瞰と考察を行う⁶⁾。

「書かれていないルール」を意識しよう

看護師を含む医療職の養成に当たっては、普段意識されていない「書かれていないルール (Unwritten rule)」⁶⁾がある。教育者がなぜ教えるのかという理念を省察し、実践と往復することを通して、教員と学生(あるいは実習指導者と実習生)が、どのように学んだのか、なぜ学ぶのかを言語化し「理念」に立ち返ることで、深層に埋もれていた「望み」が浮かび上がってくるだろう。本連載でみてきた、教育技法、評

価方法、学習環境と共同体の整え方のエッセンスが、エデュケーションの本来的意味と実践を振り返る観点となるかもしれない。

*
センゲらは、教員が自身の教育内容と行為を振り返るために「学校教育の目的は何なのかを問い続けているか、それとも学校教育の手段だけを問い続けているのか」の違いを問います⁷⁾。教育の目的や前提を疑うことは、アイデンティティが揺るがされる苦しみを伴うかもしれません。適切な学修支援のためには「私たちは何のためにここにいるのか?」と、教育や人材育成にかかわる者の役割を問い直すことが求められます。「教えるを学ぶ」ことで、社会を形成していくことができる自律的な学習者を支えていく営み(発育、そして能力開発)とは何かを一緒に考えていきましょう。

註: 日本国民としてのアイデンティティや連帯感を形成すること。明治政府が中心となって学校教育制度が整備され、読み書き能力やスキル向上のために画一化された教育がなされた。

- 参考文献・URL
- 1) 田中萬年. 教育と学校をめぐる三大誤解. 学文社; 2006.
 - 2) The Stanford Daily. Scores of Stanford students used ChatGPT on final exams, survey suggests. 2023. <https://onl.bz/sAJNzen>
 - 3) DA. ショーン (著), 柳沢昌一, 他 (訳). 省察の実践とは何か——プロフェッショナルの行為と思考. 鳳書房; 2007.
 - 4) 学び続ける教育者のための協会 (編). リフレクション入門. 学文社; 2019.
 - 5) 栗田佳代子. 教育の質を問うティーチング・ポートフォリオをあらためて俯瞰する. 看教. 2017; 58 (11): 886-91.
 - 6) Winkelmess MA, et al. Transparent Design in Higher Education Teaching and Leadership. Stylus; 2019.
 - 7) PM. センゲ, 他 (著), リヒテルズ直子 (訳). 学習する学校. 英治出版; 2014.

全国の先生方と共に、看護教育のさらなる可能性を追求しませんか

動画

教育の基本や成人学習理論、カリキュラム編成のポイント、学生対応の困りごと、また海外で活躍される看護師、看護理論家のインタビューなど、役立つ動画コンテンツを多数ご用意しています。

看護教員のための
オンラインプラットフォーム

NEO Nursing Education Online

セミナー

グループワークやリアルタイムアンケート、ディスカッションなどを用いた、参加型セミナーを開催します。

記事

講義・演習・実習の工夫や教材の開発、地域との連携など、各教育機関での実践をお届けします。

ICT を活用した看護教員の
継続的な学びの場を提供します。

無料版、すぐにご利用いただけます!

最新のセミナーなどのコンテンツ情報や価格に関しては web サイトをご確認ください

フォーラム

NEOのコンテンツをはじめ、さまざまなトピックについて全国の先生方と意見交換いただけます。

価格(税抜)

看護系大学	25万円/年
看護専門学校	10万円/年

●大学は学部単位、専門学校は施設単位でのご契約となります。
●ご契約施設の教職員の方であれば、何名様でもご利用が可能です。

医学書院

無料トライアル・ご契約に関するお問い合わせ
【販売・PR部】TEL:03-3817-5661 FAX:03-3815-7013
E-mail:sp@igaku-shoin.co.jp
内容や使用方法に関するお問い合わせ
【看護出版部】TEL:03-3817-5776 FAX:03-3815-0485
E-mail:neo@igaku-shoin.co.jp



看護のアジェンダ

井部俊子

長野保健医療大学教授
聖路加国際大学名誉教授

看護・医療界の“いま”を見つめ直し、読み解き、未来に向けたアジェンダ(検討課題)を提示します。

〈第219回〉

夜勤者のキャビン

2023年1月末に届いたメールは私の心をざわつかせた。それによると、「看護職の仮眠、特に16時間夜勤においては仮眠を取得することが必須ですが、もともと3交代勤務であった病院が2交代にした場合に、仮眠場所が十分に整備されていないことは実態調査でも明らかです。夜間の患者を守る看護職が、きちんとした仮眠も取れずにソファやストレッチャーなどで寝ている現状を何とか改善したいと思いました」というのである。さらに看護職の長時間夜勤中に適切な仮眠を取るとは「看護職の健康はもちろんのこと、患者さんへのケアの安全、(ケアの)質に影響するからです」とある。

私はこれまで、労働科学研究者の研究などをもとに「日勤-深夜」「準夜-日勤」「16時間夜勤」に関する問題を指摘してきた¹⁾。しかし、「16時間夜勤」の改革はなかなか実現されないことも認識していた。私は現役の看護部長であった1994年頃に勤務体制の変革に着手し、変則2交代制を導入している²⁾。ここでは「変則」として12時間勤務や16時間勤務を病棟が選択していた。それから16時間夜勤が全国的に普及してきたが、記録をみると、私はすでに2007年頃に「12時間以上の長時間労働の問題が指摘されており、16時間夜勤はやめるべきではないかと内心考えている」と追記している³⁾。

このような経緯もあり、「16時間夜勤」には勝手に責任を感じてきた私にとって、前述のメールはやり残した宿題を突き付けられたように感じたのである。当時も「休憩室の整備が必要」という課題を残された問題点のひとつに挙げており、仮眠室の確保に苦労したことが思い出される。

狭いけれど豊かなプライベート空間

私のやり残した宿題に取り組んでいる研究班は、矢野理香教授(北海道大学大学院保健科学研究科看護学分野/北海道大学副理事)とパナソニック株式会社エレクトリックワークス社ソリューション開発本部のメンバーである。いわば産学共同研究開発チームである。

2023年2月、北海道の冬にしては

珍しく暖かな日に私は札幌を訪れた。研究開発チームのプレゼンテーションを聞き、製品を試行した。

研究開発チームは仮眠用に開発したキャビンの試作品をもとに病院で実証を行い、病院への導入課題を解決して、夜勤看護師用の仮眠環境システム(商品名:reCabin)を2023年2月に商品化した。そのコンセプトは、看護師が寝に行くところではなく「看護師を迎え入れてくれる空間」であり、リラックス・リフレッシュできて、再び使いたくなるようなキャビンとして開発された。説明によると、パナソニックの「光」「音」「風」「香り」のエキスパートが各々の知見を持ち寄り、緊張して寝つけない看護師に、狭いけれど豊かさのある新しいプライベート空間を創出したというのである。

「入眠フェーズ」は、穏やかな灯りと落ち着いたサウンドが流れ、リラックスできる香りを乗せた微風が届く。「仮眠フェーズ」は、灯りが消えて真っ暗な中、静音が流れる。そして「起床フェーズ」では、朝日のような灯りと適度な刺激の自然風で目覚め、心地良いサウンドとすっきりする香りが迎えてくれる。こうした環境を体験した

看護師(n=33)は、起床時の灯り(76%)、入眠時の香り(61%)・サウンド(48%)・灯り(42%)、起床時の風(36%)・サウンド(30%)、時刻設定(64%)などが睡眠や休息に役立ったと回答している。

ベッドの脇には、好みの空間を選択できるように操作パネルが設置されている。病院では厨房から病棟に食事を運ぶ配膳車があるが、reCabinもそのくらいの大きさである。扉を開けてラグジュアリーな個室空間に入るといった感じである。reCabinでは、休憩時刻や時間、気分や疲労感、仮眠の質や満足度を入力することができる。こうした日々の利用データをもとに職場の労働環境の改善や看護師のQOLを考えることができる。

課題は看護師のシフトローテーション

「2019年病院および有床診療所における看護実態調査報告書³⁾によると、「仮眠専用の個室が必要数ある」と回答した施設は全体(n=1595)の20.7%、「仮眠専用の個室はあるが必要数はない」は9.0%、「個室はないが仮眠専用スペースがある」は25.6%、「仮眠専用スペースはないが横になれる場所がある」は38.6%、「仮眠できる個室や専用スペース、場所はない」は2.3%であった。

夜勤中の仮眠環境別の離職率をみると、離職率20%以上の施設において、「仮眠できる個室や専用スペース、場所はない」施設の離職率は25.0%と高く、「仮眠専用の個室が必要数ある」

施設では10.9%であった。

reCabinは看護職だけでなく、当直明けの医師や、始業時刻の早い栄養士、その他の職種にも利用範囲を拡大することができる。職員の健康管理は医療安全に直結するものであり、看護管理上の課題のみならず病院管理上の課題でもあるから、reCabinの導入は病院が持つ課題ソリューションのひとつとなろう。

当日この研究会に同席した現役の看護部長は、「16時間夜勤を選択する看護師たちは多く、シフトの変革は容易ではないこと、16時間夜勤を批判するのではなく、長時間体制の中でいかに良質な仮眠を取れるようにするかが看護管理者の課題である」と指摘する。そうか、と私は再び一撃を受けた。

入院患者に対して24時間看護を提供するには交代制勤務体制が必要である。だからといって看護師個人がシフトローテーションをせずに、固定勤務帯を維持しつつ、24時間の看護提供体制を構築する方向性に移行できないものかと、新しい仮眠文化を創ろうとしている夜勤者のキャビンを前に、私は考え続けている。

●参考文献

- 1) 井部俊子. 看護のアジェンダ第75回『看護師の夜勤への警告「日勤-深夜」「準夜-日勤」「16時間夜勤」』。週刊医学界新聞 第2921号. 2011.
- 2) 井部俊子. 「看護幹部会」について 2交代制勤務の始まり. マネジメントの探究. ライフサポート社; 2007. pp37-40.
- 3) 日看協. 2019年病院および有床診療所における看護実態調査報告書. 2020.

第37回日本がん看護学会開催

がん診療においては、入院期間の短縮をめざし、検査や治療を外来へと移行させる取り組みが進む。その一方で、増加する高齢がん患者の場合、患者本人だけでは療養と生活を両立させることが難しくなってきたのが現状であり、支援体制の整備が求められている。

2月25~26日、第37回日本がん看護学会学術集会(学術集会長=がん研有明病院・清水多嘉子氏:右写真)において開催されたパネルディスカッション「地域における高齢がん患者の暮らしを支える——多様な場での安心を支える取り組み」(座長=聖路加国際大/悠翔会在宅クリニック・田代真理氏, 野村訪問看護ステーション・熊谷靖代氏)では、高齢がん患者が地域で暮らしていくための方策が議論された。本紙ではその模様を紹介する。



「がん治療の進歩によって、緩和ケア主体のかかわりが迫る中でも治療が奏効する場合があります、専門的緩和ケアにつなぐタイミングが以前にも増してわかりづらくなっている」と話すのは、永寿総合病院の緩和ケア医である廣橋猛氏だ。特に高齢がん患者では、併存疾患を有するケースが多く、将来を見越した早めの緩和ケア医・在宅診療医の介入が重要とし、二人主治医制の意義を強調した¹⁾。

高齢がん患者に対して看護師が提供できるケアの形とは

高齢者の療養の場が多様化²⁾している中、梅田恵氏(ファミリー・ホスピス株式会社)が新たな療養モデルとして紹介したのは「ホスピス住宅」であ

る。同施設は、住宅型有料老人ホームに訪問看護ステーション、訪問介護ステーションを併設し、各地域の在宅医療や薬局、ケアマネジャーなどと協働で、がんや難病を患う方々にケアを提供することをめざした。現在、全国に30を超える拠点を構えており、「地域に根差した形でサービスを提供していきたい」と、これからの抱負を語った。

続いて、東京都中央区で訪問看護を提供する東京ひかりナースステーションの佐藤直子氏は、都市部における高齢がん患者を支える訪問看護の取り組みを紹介した。都市部では、さまざまな法人が多様な事業を展開していることから、1つの法人で全てを行うのではなく、法人間で情報共有し、連携していくことで包括的なケアを提供できるチームになることが重要との見解を示す。

今後は、連携する病院スタッフとより一層理念や価値観の統合を図り、地域全体で高齢がん患者を支えたいと話した。

最後に登壇した高橋利果氏は、へき地での医療提供の課題として医療機関へのアクセスの問題を挙げる。氏が所長を務める未来かなえ訪問看護ステーションは、総面積の90%以上が森林で占められる岩手県住田町(2020年の高齢化率:45.3%)に位置する。こうしたへき地の場合、在宅医療提供機関が少ない上、ほとんどの患者が独居もしくは老々介護の構図のために、住み慣れた自宅で最後を迎えることがかなわないケースが多々あると指摘。それゆえ患者・家族がどのような覚悟で自宅療養を決定しているかを確認することがまず大切だと話し、患者・家族が納得した最期を迎えられるような環境を整えていく力が、へき地の看護師には特に求められるとして発表を締めくくった。

●参考文献・URL

- 1) 座談会 がん患者の安心を紡ぐ二人主治医制. 週刊医学界新聞 第3240号. 2017. <https://bit.ly/3F2E5m3>
- 2) 座談会 最期の瞬間まで特養で暮らす高齢者を支える看護の形. 週刊医学界新聞 第3434号. 2021. <https://bit.ly/3F4qWtO>

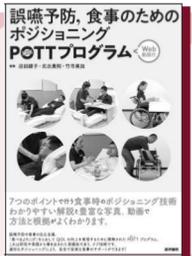
本紙編集室でつぶやいています。記事についてご意見・ご感想をお寄せください。
@igakukaishinbun

食事姿勢を整えるためのポイントは7つだけ！姿勢が変わると「食べる」につながる！

誤嚥予防、食事のためのポジショニングPOTTプログラム [Web動画付]

食事の際の適切な姿勢を整えるポジショニングについて解説する1冊。POTTプログラム(ポジショニングで(PO)食べるよるこびを(T)伝える(T)プログラム)は食事の際の適切なポジショニングをとりやすくするために開発された技術。その技術は7つのポイントに分かれており、実践しやすく、それによって食事姿勢が整えやすくなり好循環を生みだします。そのコンセプト、技術をわかりやすく解説しています。

編集 迫田綾子
北出貴則
竹市美加



医療者が知っておきたいがんのキホン知識を、マンガ家ドクターがわかりやすく解説!

マンガで学ぶ! がんのキホン

「がんはどうして生じるの?」「がんの定義って?」「がんは遺伝する?」「標準治療よりも「スゴい治療」があるの?」「がん検診ってどれくらい意味があるの?」——患者さんからこれらの質問を受けたときに、皆さんは自信をもって説明できるでしょうか? 私たちにとって最も身近な病気の一つであるがん。医療者が知っておきたいその基本知識を60のトピックにまとめ、マンガや図表とともにとことんわかりやすく学べる一冊!

近藤慎太郎



他者理解を促すためのブックガイド

小川公代
上智大学外国語学部
英語学科 教授

ケアを行うに当たって、自身とは異なる内面世界を生きる患者＝他者を少しでも理解しようと努めることは、大切なアティチュードです。とは言え、他者を理解することも、そうした姿勢を維持することも、なかなか難しいのが実際のところ。本連載で紹介する書籍や物語作品は、他者理解に臨む上でのヒントを与えてくれるはず。気になる作品を見つけたら、ぜひ手に取ってみてください。

第6回 パク・チャヌク『別れる決心』——“他者”のステレオタイプを揺さぶる①

注意：本記事は映画『別れる決心』のネタバレを含みます。

従来の性規範では、男性には外、女性には家庭の役割がそれぞれ割り当てられてきた。日本では「良妻賢母」という表現があるが、西洋では一九世紀以降、家族のために自己犠牲を厭わない〈家庭の天使〉像¹⁾が流布した。このように他者化される女性は、時に人間に当然あるべきとされる食欲、物欲をはじめ、性的欲望でさえ認められないほど非人間化される。作家のヴァージニア・ウルフは「女性にとっての職業」というエッセイの中で、女性の「天使」像を批判することで彼女らの人間性を回復しようとした¹⁾。その後、女性の内面の葛藤に光が当てられたり、男を破滅させるようなファミ・ファタールが描かれたりする文学作品や映画が生み出され、女性のステレオタイプは揺さぶられ続けている。

映画『別れる決心』にも、〈家庭の天使〉というステレオタイプを打破しようとするパク・チャヌク監督の意欲が見てとれる。彼はインタビューで次のように語っている。

私はステレオタイプからの脱却に強い関心があります。「男性はこういうもの、女性はああいうもの」という決めつけや社会的イメージは、実際の個人には当てはまらないことが多い。にもかかわらず、現実世界ではステレオタイプが維持されつづけています。だからこそ、それらを脱却する人物を描きたいんです²⁾。

彼は『復讐者に憐れみを』(2002年)、『オールド・ボーイ』(2003年)、『親切なクムジャさん』(2005年)の復讐トリロジーや、『お嬢さん』(2016年)といった過激な暴力シーン・セックス描写のある作品で広く知られる監督である。しかし今作の『別れる決心』で、パク・チャヌクはそのいずれも封印した。ただし、ステレオタイプからの脱却については一貫している。『親切なクムジャさん』で、黙って微笑むヒロインの「天使」像が実は偽装されたものであったと露呈するように、彼は初期の頃から「女性がああいうもの」という規範からの逸脱を図ってきた。天使のように親切だったクムジャさんは赤いアイシャドーをつけ、復讐に燃える女性に変身するが、今回のヒロイン、ソン・ソレもまた一枚岩的な「天使」からは程遠い存在であると言える。

看護師資格を持つケア提供者として熱心に高齢者の世話をするソレは、〈家庭の天使〉を絵に描いたような女性である。しかし彼女は、岩山から転落死した被害者の妻であり、容疑者として捜査線上に浮かび上がる。夫が事故死したにもかかわらず、悲しむこともない。彼女は夫によるDVの被害者で、さらには中国人(＝他者)で、母親殺害の疑惑まである。ただ、ソレには夫が殺害された時のアリバイがある。不眠症を抱えた主人公の刑事ヘジュンは、捜査のためにソレを追い、時には取調室で対面しながら、彼女に対する「悪女」と「天使」の両極のイメージの間で逡巡する。ソレがヘジュンに「私は母を専門的に看病したくて看護師になりました。でも母は、看護師なら専門的に殺してほしいと。だから望み通りに見送りました」と告白する時、「ケア」なのか「殺人」なのかという判断は宙づりになる。同僚刑事はソレを「悪女」と信じ込むが、ヘジュンにはどうしてもそう思えない。ソレが彼を寝かせようとする場面で、あえて愛を交わす行動に出ないのは、ヘジュンの不眠症を労っているからであり、彼女の「ケア」は真実に見える。

ヘジュンは思い惑う。もしかしたらソレは刑事である自分を誘惑し、利用しようとしているのかもしれない。ソレは弱々しい存在ではなく、自分の欲望をはっきりと表現して追求する女性であるのかもしれない。ヘジュンが抱くソレへの思慕や逡巡とともに、観客の想像力もまた彼女の内面へと誘われ、“他者”をステレオタイプ化してしまう衝動を免れるのだ。

参考文献・URL

- 1) ヴァージニア・ウルフ(著)、出淵敬子、他(監訳)、女性にとっての職業——エッセイ集 新装版、みすず書房；2019。
- 2) 稲垣貴俊、『別れる決心』パク・チャヌクが語る、複雑な女性像にかける思い。目指すのはステレオタイプからの脱却。2023。
https://www.cinra.net/article/202302-ParkChanwook_iwkmkrl



Medical Library 書評新刊案内

本紙紹介の書籍に関するお問い合わせは、医学書院販売・PR部(03-3817-5650)まで
なお、ご注文は最寄りの医学書院特約店ほか医学取扱店へ

看護教員のための問題と解説で学ぶ教育評価力トレーニング

佐藤 浩章 ● 監修
大串 晃弘 ● 編

A5・頁152
定価:2,640円(本体2,400円+税10%) 医学書院
ISBN978-4-260-05060-9

評者 赤池 雅史
徳島大学大学院教授・医療教育学

授業の教育方法にいろいろ工夫を凝らしても、結局のところ、学生は試験に合わせて学習してしまうことに行き詰まりを感じた経験はないだろうか。

あるいは、教育評価の方法を学ぶためにFDに参加しても、聞き慣れない教育専門用語に戸惑い、具体的に何をどうすればよいかよくわからなかったという経験はないだろうか。本書は看護教育における教員の教育評価力のトレーニングを目的としたもので、日々の教育活動において、看護教員が感じているこれらの課題や疑問に答えてくれるものである。

I部では「教育評価力を向上させる意義」と題して、教育評価力はなぜ必要なのか、教育評価力が向上すると何ができるようになるのかにつき、わかりやすく解説されている。

II部では、学習者中心の教育と学習成果の評価についての解説から始まり、近年重要視されている3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)と学習成果との関係性が明確に示されている。さらに、学習成果の理解に不可欠であるコンピテンシ(コンピテンシー)、「能力」の入れ子構造モデル、ブルーム・タキソノミー、ミラーのピラミッドについて、それぞれの説明とそれらがどのような関係にあるかを明確に示している。これらの関連性が今ひとつわからず、もやもやされている方も、この章を読むと「そ

ういうことか」と必ずやふに落ちるであろう。

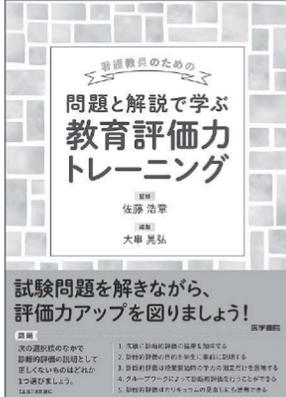
II部では、診断的評価、形成的評価、総括的評価からなる教育評価の分類と、直接評価・間接評価と量的評価・質的評価の2軸によって分類される4つのタイプの学習評価方法も解説されている。そして、近年、医療教育で重視されているパフォーマンス評価とその評価基準法であるルーブリックの説明が続くことで、教育評価力の全体像の理解が自然に深まるように仕組まれている。

さらに、その次からが本書の特筆すべき真骨頂なのであるが、読者の理解度を確認する多肢選択問題が次々と登場する。この問題に解答し、答え合わせをしていくことで、なんとなくわかったつもりになっていた教育評価力について、さらにその理解が深まる「学びほぐし」となるように仕組まれている。

さらにIII部では、応用編として、講義、演習、実習、卒業研究に関する教育評価力の向上について、実践的な解説とその理解度チェックの試験問題が続いている。そこではフィードバック、認知バイアス、不正行為、合理的配慮が必要な学生への対応などについても触れられており、日々教育を実践している教員の視点に沿った内容である。

本書は看護教育のみならず、全ての医療教育に共通する内容が満載である。医療教育にかかわる全ての方にお薦めしたい。

問題の答え合わせをすることで教育評価力の理解が深まる



医学書院 ウェブサイトで 何が出来るの?

医学界新聞 閲覧

学会情報 check

書籍 立ち読み

論文作成にかかわる全ての人に必携。待望の最新版。

APA論文作成マニュアル 第3版

Publication Manual of the American Psychological Association, 7/e

APA論文作成マニュアルは、心理学のみならず、看護学でも広く使われる論文作成のスタンダードの1つである。前版より大きくアップデートされた本版では、論文の構成・書式から、文法知識、偏見のない文章表現、引用文献と内容は多岐にわたり、APA方式にかかわらず、論文そのものを作成するための基本が詰まっている。論文作成に携わる全分野の人の傍らで、きつと役に立つに違いない必携のマニュアルである。

著 アメリカ心理学会 (APA)
訳 前田樹海
江藤裕之



B5 頁472 2023年 定価:4,620円[本体4,200円+税10%] [ISBN978-4-260-04812-5] 医学書院

救急医・睡眠専門医・看護師 3者の視点で応援します

夜勤のサバイバル

医療従事者にとって、当直・夜勤などのシフト勤務をいかに乗り切るかは大きなテーマである。救急医(志賀隆先生)、睡眠専門医(伊田瞳先生)、看護師(かげ)の3人がコラボレーションし経験とエビデンスをもとに、(1)夜の勤務チーム、(2)夜勤における睡眠、(3)患者さんが安定するための先手の予防策、(4)夜のトラブルにどう対応するか4つのパートに分けて解説。過酷な現場で働く医療者に役立つ情報とエールを送る。

著: 志賀隆 国際医療福祉大学医学部救急医学主任教授
伊田瞳 医療法人康唯会 プラナクリニック
かげ

定価2,860円(本体2,600円+税10%)
A5 頁184 図9 2023年
ISBN978-4-8157-3067-3

MEDI 医療・サイエンス・インターナショナル
TEL: (03)5804-6051 FAX: (03)5804-6055
https://www.medi.co.jp 113-0033 東京都文京区本郷1-28-36 Eメール: info@medi.co.jp

カラフル&コンパクト

- 診療で使われる治療薬を網羅
- 色分けの見出しで知りたい項目がすぐ見つかる
- 文庫本サイズ・厚さ約2・5cm。白衣のポケットにも入れやすい！

主な内服薬の写真入り
ハイリスク薬など安全性情報も充実

ほぼ原寸→



現場で手軽に使える治療薬年鑑

Pocket Drugs 2023

監修 福井 次矢 編集 小松 康宏, 渡邊 裕司

● A6 頁1216 2022年12月発売
定価 4,730円(本体 4,300円+税10%)
[ISBN: 978-4-260-04975-7]

医学書院

詳細はこちらから



医学書院の看護系雑誌

看護管理 4月号 Vol.33 No.4 1部定価:1,760円(税込) 冊子版年間購読料:18,876円(税込) 電子版もお選びいただけます

特集 病棟チームの関係性を つむぎ直す
コロナ禍における「組織の安全感」とは

【導入】COVID-19を経験した私たちが今考える、病棟チームの関係性と組織の安全感
奥野史子
「災害時の支援者支援」の視点から見るコロナ禍からの組織の復興……原田奈穂子
【実践報告】伊勢赤十字病院の取り組み コロナ禍において自律したチームを立ち上げ、組織の支援者を支援した経験を振り返る……奥野史子
【実践報告】伊勢赤十字病院の取り組み 協働を通じた病棟管理者のサポート……中井茉莉
【実践報告】横須賀共済病院の取り組み 個人の心理的柔軟性と組織の安全感を高める実践……河野伸子/光定博生
組織のコロナ後遺症 コロナ禍における病棟チームのマネジメントを考える……武井麻子
自律したチームを支援する謙虚なリーダーシップと、これからの組織の関係性……奥野史子

看護研究 2月号 Vol.56 No.2 1部定価:本体2,200円(税込) 冊子版年間購読料:本体11,880円(税込) 電子版もお選びいただけます

特集 若手研究者の活躍に向けて

若手研究者の活躍に向けて JANSの取り組みを中心に……仲上豪二郎
＜学協会における若手研究者支援の取り組み＞
日本精神科看護協会の取り組み……木戸芳史
日本助産学会若手研究者活躍推進委員会の取り組み……増澤祐子
看護理工学会の取り組み……吉田美香子, 桑名健太
＜若手研究者のつながりと発信 JANS若手の会エリアコーディネーターの活動＞
檜山明子/丹野寛大/荻原弘幸/細野知子/長山豊/林文子/伊東由康/井上正隆/大城真理子 ほか
若手研究者への期待 これまでのキャリアと経験から……菅野恵美
若手研究者支援の未来を見据えて……新福洋子
特別記事 応答的理性について2 一例を扱う質的研究の正当性のために……家高洋

訪問看護と介護 3月号 Vol.28 No.3 4月下旬発行

特集 一段上の緊急対応——ケアの質を上げるのは「つなぐ」意識

精神看護 5月号 Vol.26 No.3 4月下旬発行

特集 [保存版]「頓服」の迷い解決!——現場の問題を整理しよう

看護教育 2月号 Vol.64 No.2 1部定価:2,750円(税込) 冊子+電子版年間購読料:16,500円(税込) 隔月刊です

特集 EBPと看護教育

EBPとは何か 看護教育はEBPそのものである……山川みやえ
EBPサイクルを回す戦略 研究活動がそのまま教育になる事例……山川みやえ
学部生からEBPを学ぶ意義と実践……廣瀬瑠華/山川みやえ
訪問看護の現場とEBP 訪問看護ステーションとの抄読会をとおして……金谷玲子
研究者と臨床家が対話することの重要性……瀧上恵吾
臨床看護が楽しくなるEBP 研究活動をとおして実感した実践を変える取り組み……竹下悠子
【座談会】EBP教育の課題と展望……竹屋泰/山川みやえ/梶屋絵理子

助産雑誌 2月号 Vol.77 No.2 1部定価:1,980円(税込) 冊子版年間購読料:11,022円(税込) 隔月刊です

特集 チームで取り組む 周産期メンタルヘルス

【座談会】困難事例を共有・相談し、スタッフの学びとメンタルケアも行う
信州大学医学部附属病院 産科・NICUが周産期のこころの医学講座と毎週行う「よろずカンファレンス」とは!?……太田まさえ, 牧田ゆかり, 小堀福子, 村上寛
Case1●出生前診断を他院で受け、強い不安を繰り返し訴える妊婦にどう対応する?
……太田まさえ, 牧田ゆかり, 村上寛
Case2●経膈分娩中にパニックを起こし、緊急帝王切開となった産婦について振り返る
……太田まさえ, 牧田ゆかり, 小堀福子, 村上寛
【座談会】さまざまな特性をもつ女性を支える産後ケアと精神科の連携
……北澤倫子, 村上寛
新連載 無痛分娩の超ソボクなギモンに産科麻酔科医が答える
教えて! ヒュウガ先生……日向俊輔, 田辺けい子

保健師ジャーナル 4月号 Vol.79 No.2 1部定価:1,760円(税込) 冊子版年間購読料:10,032円(税込) 隔月刊です

特集 虐待から子どもの命を どう守るのか

児童虐待防止に関わる近年の動向……羽野嘉朗
子ども虐待による死亡事例等を防ぐために留意すべきポイント
保健師の強みを活かすために……大木幸子
子どもの安全を共に考えるパートナー 児童福祉司から保健師の役割に期待すること……佐藤剛
和木町における母子保健と児童福祉が連携するための保健師の取り組み……遠田千春
宮崎県における児童相談所保健師による取り組み 中と外をつなぐ活動の見える化
……有村めぐみ